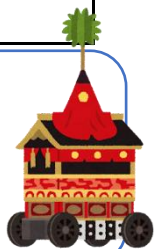


日	月	火	水	木	金	土
						1
						←
2	3	4	5	6	7	8
五ツ木駿々堂 模試	休校 月謝振替日	←	保護者面談	→		
9	10	11	12	13	14	15
父母会 育伸テスト	休校 月謝再振替日	←	保護者面談	→	休校 (祇園祭)	休校 (祇園祭)
16	17	18	19	20	21	22
休校 (祇園祭)	休校	←	保護者面談	→		
23	24	25	26	27	28	29
休校	←	夏期講習Ⅰ期 ※通常授業実施	→			通常授業
30	31	8/1	2	3	4	5
休校	←	夏期講習Ⅱ期 ※通常授業実施	→			通常授業
開校時間 火～金 14:00～21:10 土 10:30～19:00 日 13:00～19:00 講習中 10:30～19:00						

★ 7、8月の予定 7/2 五ツ木駿々堂模試 7/1～23 保護者面談 7/9 父母会
 7/14～16 祇園祭休校 7/24～28 夏期講習Ⅰ期 7/31～8/4 夏期講習Ⅱ期
 8/7～11 夏期講習Ⅲ期 8/13～20 休校 8/21、22 祇園祭休校振替日
 8/27 五ツ木駿々堂模試 ※ 夏期講習中も通常授業は実施



M.access (エム・アクセス) TEL:075-256-7739 Fax:075-256-7724 E-mail maccess@sch.jp

独断◆エム・アクセスでは、常に「伸びる力」というものを訴えてきた。受験には合格したが、その先伸びなくなった、というような学習の仕方では、結果としてその子にとって良くない。◆親に「なぜ受験をさせるのか」と聞けば、必ず「その子の将来のため」という答が返ってくる。その胸の内の何割かは「親の見栄のため」というのが潜在的にはあるだろうが(呵々)、本質は「その子のため」であるはずだ。生きることの目的は、幸せに生きることだ(一部トートロジー)。だから私たちは一貫して「将来に渡って伸びる力をつける」ことをその根幹として指導してきた。◆「将来に渡って伸びる力をつける」ことは、実は理屈の上ではそんなに難しいことではない。十年、二十年と学習指導を続けて、生徒たちの将来を見てみれば、一目瞭然である。しかし、それを実践するのは、当たり前だが相当難しい。私たち教える側も人間だし、教えられる生徒も人間だから、その子に合った完璧な指導をするというのとは不可能である。仮に完璧な指導としても、エム・アクセスにいる時間はほんのわずかである。他の環境、例えば保護者の方、学校の先生などとも、同じ理念を共有できない限り、やはり指導はうまく行かない。大手進学塾とも兼ねて登校している場合など、大手塾の「イズム」にどうしても汚染されてしまう。「イズム」が体に薫習(匂いが意図せず体に染み付く)されてしまうのだ。◆それでも、親がその「匂い」に敏感であれば、それを身につかないようにしたり、あるいは洗い流したりすることができる。やはり環境の中で最も重要なのは「親」であり、親の正しい理念が、子供をより良く育てることは間違いない。(み)